

令和2年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第8号 令和2年9月3日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

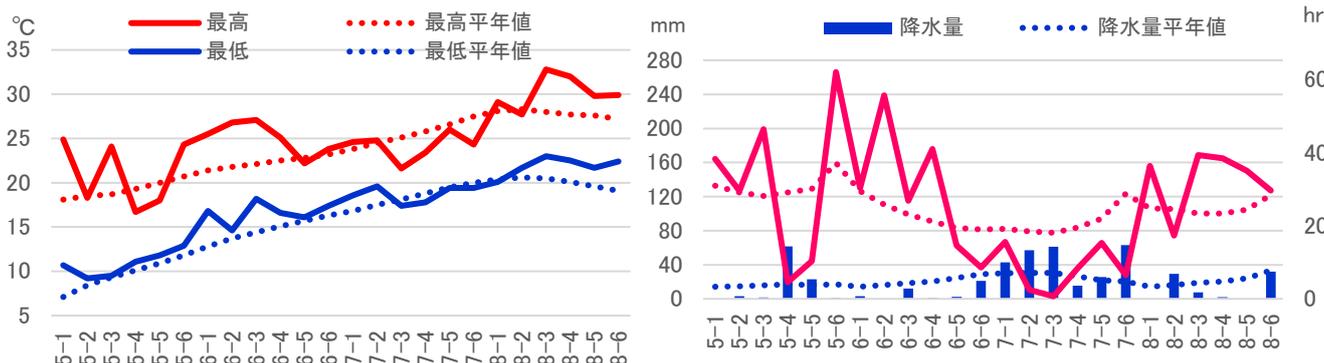


図1 田植後の半月別気象経過（鹿島台アメダス）

2. 出穂状況

表1 管内の出穂状況

	出穂始期	出穂期	穂揃期
本年	8月1日	8月5日	8月14日
前年差	2日遅い	2日遅い	6日遅い
平年差	3日遅い	5日遅い	5日遅い

※出穂始期・出穂期・穂揃期は、出穂期(全茎の50%以上が出穂)に達したほ場の面積が、それぞれ水稲作付見込み面積の5%・50%・95%以上となった日。

8月は月を通して気温が高く、日照時間も多く推移したため、出穂期は前年及び平年より遅くなりましたが、**登熟は進んでおり、刈取適期は前年並み～やや早まる見通しです。**

3. 出穂後25日調査結果

調査地点	品種	区分	田植日	栽植密度 (株/㎡)	出穂期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒/本)	粒数 (百粒/㎡)	止葉葉色 (SPAD値)
涌谷 (小谷地)	ひとめぼれ	本年値	5/10	18.9	8/7	88.3	18.1	518	73.8	382	33.9
		前年比・差	2日早い	101%	4日遅い	108%	98%	108%	94%	102%	93%
		平年比・差	2日早い	107%	5日遅い	106%	100%	105%	105%	111%	108%
田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5/9	16.3	8/6	81.2	18.6	412	72.4	299	30.6
		前年比・差	3日早い	104%	3日遅い	97%	99%	91%	74%	67%	83%
		3ヶ年平均比・差	4日早い	101%	3日遅い	90%	99%	92%	89%	81%	98%
鹿島台 (木間塚)	ササニシキ	本年値	5/11	15.6	8/7	83.3	17.1	507	76.8	389	24.4
		前年比・差	3日早い	90%	4日遅い	102%	102%	89%	106%	95%	88%
		平年比・差	4日早い	87%	6日遅い	101%	99%	101%	108%	109%	89%
鹿島台 (木間塚)	だて正夢	本年値	5/24	18.8	8/11	93.7	19.2	400	97.4	390	38.5
		前年比・差	11日遅い	89%	4日遅い	98%	99%	80%	119%	96%	101%
		3ヶ年平均比・差	11日遅い	91%	6日遅い	105%	102%	94%	118%	113%	109%
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5/4	16.3	8/9	86.7	21.6	391	85.0	333	36.5
		前年比・差	1日遅い	100%	4日遅い	103%	114%	79%	118%	93%	122%

※平年値は過去5年間の平均値。過去平均は5年未満の平均値。

4. 積算気温からみた刈取適期

表2 品種別刈取適期の目安

品 種	目安となる積算気温	出穂期							
		8/1	8/3	8/5	8/7	8/10	8/14	8/18	8/20
ひとめぼれ まなむすめ	940°C(早限)	9/8	9/11	9/13	9/16	9/19	9/25	10/2	10/5
	1,000°C	9/11	9/14	9/16	9/19	9/23	9/29	10/6	10/9
	1,100°C(晩限)	9/16	9/19	9/22	9/24	9/28	10/5	10/12	10/16
ササニシキ	930°C(早限)	9/8	9/10	9/13	9/15	9/19	9/25	10/1	10/4
	1,000°C	9/11	9/14	9/16	9/19	9/22	9/29	10/6	10/9
	1,150°C(晩限)	9/19	9/21	9/24	9/27	10/1	10/8	10/16	10/20
つや姫	1,000°C(早限)	-	-	-	-	9/23	9/29	10/6	10/9
	1,100°C	-	-	-	-	9/29	10/5	10/12	10/16
	1,200°C(晩限)	-	-	-	-	10/5	10/12	10/20	10/24
だて正夢	1,020°C(早限)	9/12	9/15	9/17	9/20	9/24	9/30	10/7	10/10
	1,060°C(晩限)	9/14	9/17	9/19	9/22	9/26	10/3	10/9	10/13
金のいぶき	1,050°C(早限)	9/14	9/16	9/19	9/22	9/26	10/2	10/9	10/12
	1,100°C	9/17	9/19	9/22	9/25	9/29	10/5	10/12	10/16
	1,150°C(晩限)	9/19	9/21	9/24	9/27	10/1	10/8	10/16	10/20

※鹿島台アメダスの平均気温(9月2日までは本年の実測値。9月3日以降は準平年値を使用。)の積算から予測。

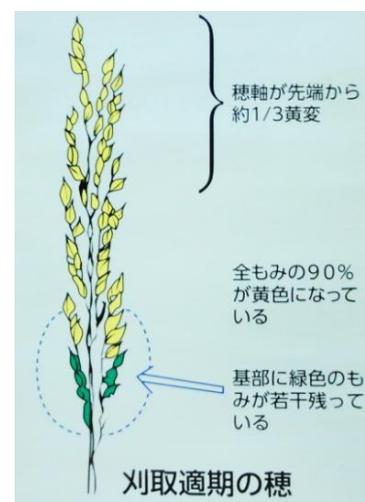
5. 今後の管理

(1) 適期収穫

☆コンバイン収穫作業では、収穫時の籾水分が高すぎると、籾や玄米に損傷を与え、胴割粒が増加し、品質低下の原因となります。

籾水分 25%以下を目安に収穫しましょう。

☆**籾の90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときが刈取り適期**なので、葉色にまどわされないう穂をよく観察しましょう。



<籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定>

ひとめぼれでは、平均的穂数株(枝梗数 8)の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます(図2参照)。

- ◆成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始。
- ◆成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ(90%)黄化。(7日以内で刈り取り早限)
- ◆成熟段階Ⅲ：第1位籾のほとんど(95%)黄化し、第2・3位籾が黄化開始(刈り取り早限)
- ◆成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2・3位籾の30%が黄化(積算温度1000°C程度)
- ◆成熟段階Ⅴ：第2・3位籾が50%以上黄化(刈り取り晩限)

刈
取
適
期

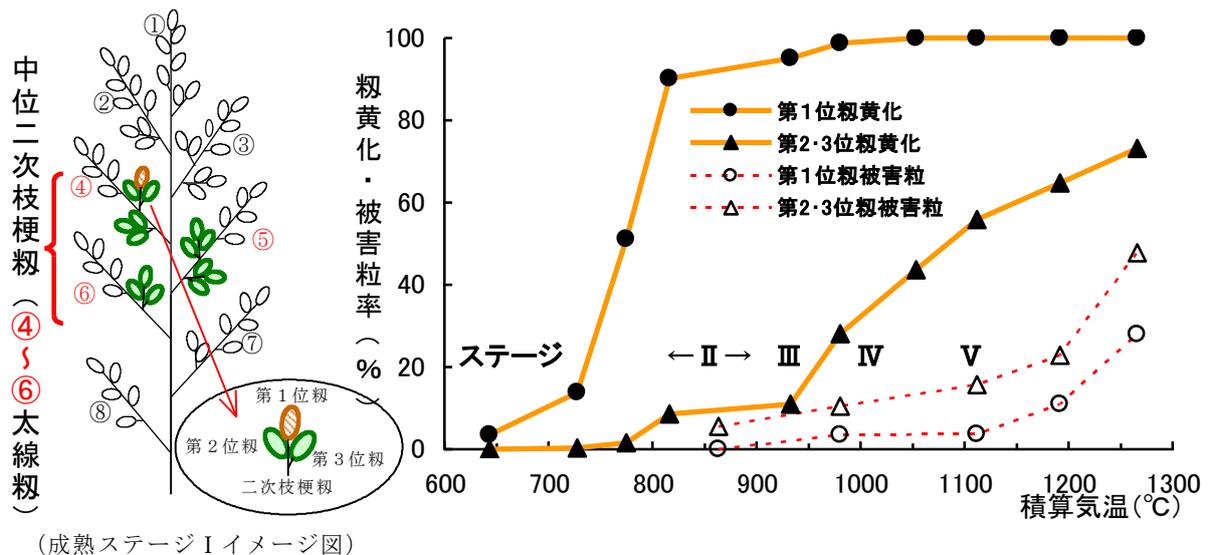


図2 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

- ☆倒伏した稲や水口など、成熟期の遅れた稲は籾水分が高いため、収穫時期や籾袋を別にして他の正常な籾に混ぜないで乾燥しましょう。
- ☆刈り遅れは胴割れ粒、穂発芽、茶米などの被害粒の発生により玄米品質を低下させます。良食味味を確保するには、刈取り適期内にあっても、できるだけ早く刈取ることが望ましいです。
- ☆クサネムやツユクサは、脱穀時に種子が混入すると、揺動式比重選や粒径選でも取り除くことができないので、収穫作業前に必ず抜き取りましょう。

(2) 乾燥・調製

- ☆コンバイン収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因となるため、速やかに乾燥機に張り込み送風循環しましょう。
- ☆倒伏した稲や未熟粒の多い稲などは高水分籾の混入が多いため、過乾燥となりやすく、胴割米の発生・碎粒の増加・光沢の低下など品質低下を招きます。高水分籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥（籾水分が20%以下になるまで乾燥した後、乾燥を一時停止し、籾の水分むらが少なくなってから再度仕上げ乾燥を行う）を行い、水分むらや胴割米の発生などを抑えましょう。
- ☆正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定することで過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は14.5%~15.0%が目標です。
- ☆籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ☆異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。